

進路指導だより

中学部授業「卒業生のお話を聞こう」の紹介

中学部の合同自立の単元で「卒業生のお話を聞こう」の学習が行われました。

授業では、まず話を聞く前に、昨年度見学に行った「鳥栖シール工業（現在、鳥栖NOK株式会社。本校卒業生2名が就職）」の振り返りをしたり、就職して働いている先輩への質問を考えたりしました。

今回は、平成29年度卒業し、株式会社佐賀LIXIL製作所に就職し働いている古賀郁哉さんを講師に招き、お話をいただくことになり、1月27日（水）5時限目の時間に講演がありました。



講演の始めに、自分や会社の紹介（ユニットバス、システムキッチンなどの住宅設備建材の製造、従業員数、勤務時間など）があり、その後は、生徒からの質問に回答する形でお話が進みました。

－ 「生徒からの質問」と「回答」の紹介（一部抜粋） －

- ・ コミュニケーションをする時の工夫は？
→ 始めに“聞こえないこと”をきちんと伝える。
筆談だけでなく身振りなども使う。
- ・ 仕事で失敗したことはありますか？
→ 自分勝手な判断をして怒られたこともあった。
上司からの話をきちんと理解していなくて、後から後悔したこともある。
- ・ 学校生活で身に付けておいて良かったことは？
→ 陸上部で身体を鍛えていたおかげで、仕事で重いものでも持てたり、長時間の立ち作業ができる体力が身に付いた。
勉強面では、社会に出ると国語や英語は必要なので学んでおいて良かった。
コミュニケーションでは国語力が最も重要。自分もまだまだ足りてない…



・ 障害のため困ったことは？

→ 仕事の時に後ろから声をかけられて気づかなかったり、運転中に救急車のサイレンに気づかなかったりがあったので、常に周りを見るようにしている。

講演の最後には、中学部の生徒たちに伝えたい大切なことを5つ挙げられました。

- 失敗したら、すぐに謝ること
- わからないことがあれば、すぐに相談すること
- 困っている人がいたら、積極的に助けたり、相談にのってあげること
- 挨拶をすること
- 我慢も大切だけど、本当にきつい時は、無理をしないこと

社会で活躍している先輩のお話を聞いて、自分の進路や今後の自分の生活を考える良いきっかけになったと思います。

進路のおはなし～進学⑥ 進学に関わるお金について

これまで進学についてお話をしてきましたが、進学を考える際に、気になることとして“お金”のことがあります。

進学先によって必要となるお金も大きく変わってきます。例えば、私立大学や専門学校は、入学金、授業料、教科書・教材費などで年間約100万円以上の学費が必要と考えるのと良いと思います。また、国公立の学校や職業訓練をする能力開発校はもっと安いと考えてもらって良いかと思いますが、その他にも寮費や交通費、食費などを考えるとかなりの出費が予想されます。

もちろん、興味関心のあることを学び、資格を取るなど進学して得られることもたくさんあります。お金の心配に関しては、奨学金を利用する方法もあります。さまざまな種類や条件がありますので、進学を考える学校に事前に問い合わせると良いです。

奨学金のタイプ	メリット	デメリット
給付型	返さなくてよい	採用基準がかなり高め
免除・減免型	費用の一部が免除	採用基準が高め
貸与型	採用基準が低め	返す必要がある